

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日6月3日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、6月10日（火曜日）からです。

『生きるかってなんですか？』

おおた としまさ／著、日経BP社／刊、請求記号：159.5 /O,81

内容：わが子に「生きる力」を授けたい。では何が「生きる力」になるのか。内田樹、C・W・ニコル、三浦雄一郎などの識者が、生きる力について語る。子ども向けのやさしい説明と、大人向けの詳しい解説を掲載。

著者紹介：育児・教育ジャーナリスト。中高の教員免許、小学校教員の経験、心理カウンセラーの資格もある。著書に「オバタリアン教師から息子を守れ」「中学受験という選択」など。

『数学の教科書が言ったこと、言わなかったこと』

南 みや子／著、ベレ出版／刊、請求記号：410 /Mi,37

内容：なぜ数学の教科書は語らないのか、語れないのか。プラスマイナスの計算、方程式、座標とグラフ、微分と積分などをめぐる問題を解きながら、数学の教科書が「語ってくれなかったこと」について記す。

『奇跡のマーケティング』

松井 康雄／著、日刊工業新聞社／刊、請求記号：588.5/ Ma,77

内容：ビール業界の勢力図を大きく塗り変えた怪物、アサヒスーパードライはこうして生まれた。実務責任者だった元マーケティング部長が語る真実の開発ストーリー。2005年以降のビール業界の動向をエピローグに追加。

著者紹介：1938年大阪市生まれ。大阪大学法学部卒業。元アサヒビール・マーケティング部長。アサヒビール(株)社友。

『ディズニーランド成功のDNA』

ホリテーマサロンテーマパーク研究会／著、PHP研究所／刊、請求記号：689.5/ H,87

内容：日本人を魅了し続ける「感動の場」はこうしてつくられた! 東京ディズニーランド開園までのストーリーや、現在のディズニーランドの話を織り交ぜ、ディズニーランドに刻みこまれた「人を幸せにする場所」というDNAを探る。

『やきものの里めぐり』

永峰 美佳／著、JTBパブリッシング／刊、請求記号：751.1/ N,15

内容：毎日使っても飽きない、お気に入りの器を求めて、日本全国を歩けば、新しい出会いや発見が待っている。器が買える窯元や店舗、ギャラリーに加えて、やきものへの理解が深まるスポットを紹介。データ:2014年2月現在。

著者紹介：東京都生まれ。早稲田大学卒業。編集者、ライター。「入澤企画制作事務所」に所属、やきものの雑誌『陶磁郎』をはじめ、さまざまな雑誌、単行本の企画・編集を行う。2007年、独立。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp